

No.	4	
コード	RT01-b	
開講形式	リモート	
区分	養蜂学	
科目	社会性昆虫としてのミツバチ	
講師	中村純	
背景	ミツバチは社会性昆虫として、生物界のひとつの頂点にいる生物である。	
目的	ミツバチが高度な社会を営む昆虫であることの理解が、この動物を飼養する上で重要なポイントとなる。ミツバチの社会を理解して、飼養管理や生産管理をどのように進めるべきかを理解する。	
概要	高度なミツバチの社会（コロニー）を概観し、なぜそのようなになっているのかを理解するための基本情報を身に付ける。	
到達目標	・コロニーに1匹しかいない女王蜂は、なぜ多回交尾をするのかを説明できるようになる。 ・働き蜂の分業の意義について理解できる。 ・ダンス言語の成因とその利用について理解できる。	
講義内容	社会を支える高度な働き蜂の能力 雌におけるカースト分化（生殖カーストと労働カースト） コロニーとは何か、「群れ」とは何が違うのか 女王蜂の多回交尾と働き蜂の遺伝的多様性と分業 貯食性～大量のハチミツを貯えるのは何のため？ 巣内環境の恒常性の維持 高度なコミュニケーションとその利用	
参考資料	「ミツバチの生物学を養蜂に活かす」 「ミツバチの教科書」	

